

CONSERVATION ALLIANCE
FOR SEAFOOD SOLUTIONS

漁業改善プロジェクト支援の ためのガイドライン

2019年9月改訂

保全団体と水産業界は、連携を通じて水産物の
持続可能性および海洋生態系の健全性を改善す
る強い力を発揮できる。

solutionsforseafood.org



漁業改善プロジェクト支援のためのガイドライン

本ガイドラインの目的は、コンサベーション・アライアンスのメンバーが支援する漁業改善プロジェクト(FIP)の種類を定義することです(例:FisheryProgress.org上で評価する、および / または事業パートナーに対してFIPへの参加またはFIPからの調達を推奨するなど)。

目次

漁業改善プロジェクト支援のためのガイドライン

コンサベーション・アライアンス・フォー・シーフード・ソリューションズのメンバーは、水産物の持続可能性の改善に向けた漁業の取り組みを支援しています。

漁業における管理や環境の問題に対処する方法としては、政策の転換や混獲の低減のような的を絞った戦略、および漁業改善プロジェクト(FIP)と呼ばれる様々な利害関係者が関わる取り組みなど、様々な手法があります。本ガイドラインでは後者に的を絞りますが、これらの手法は全て価値があり、持続可能な漁業の実現に向けた取り組みを支援する上で長きにわたり重要な役割を果たすものと考えています。

2012年、コンサベーション・アライアンスは将来にわたる継続的な改善を前提として、漁業改善プロジェクト(FIP)に関する最初のガイドラインを発表しました。その後FIPの数が世界中で大幅に増加する中、アライアンスのコミュニティや、水産業界および漁業関係者からのフィードバックをもとに、ガイドラインをできるだけ明確にするために2015年に改訂を実施し、さらに漁業改善プロジェクトを取り巻く状況の進展を受け、2019年には微修正を行いました。

漁業改善プロジェクトでは、漁業やそれに依存するコミュニティや事業者が繁栄できるような高いレベルの持続可能性の達成を目指さなければならないと考えます。そのため全てのプロジェクトにおいて、漁業が最終的に海洋管理協議会(MSC)の認証規準を無条件で満たす水準に到達できるよう働きかけています。実際にこの水準への到達を長期的な目標とする漁業もあります。

コンサベーション・アライアンスは、漁業の環境面における業績、および漁業改善プロジェクトの長期的な進捗状況を評価するツールとしてMSC認証規準を活用しています。この認証規準は、認証取得を目指すかどうかにかかわらず全ての漁業が活用できます。全ての漁業改善プロジェクトの進捗状況を信頼できる統一した基準で評価することにより、アライアンスのメンバーや、持続可能な水産物の実現に責任を持って取り組む事業者が、プロジェクトへの参加またはプロジェクトからの調達に関してより多くの情報をもとに決断ができるようになります。

漁業改善プロジェクトにおいては、漁業内に存在しうる人権侵害や労働問題、およびコミュニティへの影響など幅広い社会問題を調査するとともに、実施計画の中で取り組む問題に優先順位を付けるよう働きかけています。コンサベーション・アライアンスは、社会的責任のある水産物の定義として、モンレー・フレームワークを導入しましたが、これは以下の3つの重要な要素を含んでいます。

1. 人権や尊厳、およびリソースへのアクセスを保護する。

2. 平等性および公正な利益獲得の機会を保証する。
3. 食物および生活の安全・安心を向上させる。

[水産物業界向け社会的責任評価ツール](#) は、モンレー・フレームワークを基に策定された診断ツールです。小規模漁業から産業規模の漁業まであらゆる規模の漁業におけるFIPにおいて活用が可能で、このフレームワークの3つの要素から漁業における社会問題のリスクを評価し、改善が必要な分野を特定するとともに、社会的責任を向上させるための行動を実施計画に織り込むことができます。このツールは漁獲漁業および養殖漁業両方に適用できます。

企業が事業を行う国が所管する法律により、企業はそのサプライチェーン内における人身売買および現代の奴隷状態に対して刑事、民事または規制上の責任を問われる可能性があります。そのため、特定の地域におけるリスクに対処するための法律や労働条件、および他の選択肢に対する理解を助長するために、地域の人権に関する専門家の助言を求めることを推奨しています(例:地域の労働組合や人権保護に関わるNPO、および法律の専門家など)。

コンサベーション・アライアンスは、漁業改善プロジェクトの進捗状況に関する信頼性の高い情報をまとめて閲覧できるウェブサイトである[FisheryProgress.org](#)の作成を支援しました。 fisheryProgress.orgは水産業界やNGOコミュニティがFIPの進捗状況を追跡できる公開ウェブサイトで、コンサベーション・アライアンスのメンバーであるFishChoice(フィッシュ・チョイス)により運営されています。FIPの実施者は6か月ごとにFIPデータを更新し、フィッシュ・チョイスのスタッフがその完全性および正確性を精査したうえで公表します。これによりユーザーがサイトから得る情報の信頼性を担保することが可能になります。

漁業改善における水産物バイヤーの役割

コンサベーション・アライアンスは2008年に「持続可能な水産物に関する共通

ビジョン」を公表しました。これは企業が持続可能な水産物に関する方針を策定し、実施するために必要な6つのステップをまとめた指針ですが、そのうちの一つは、小売業者、サプライヤーおよび加工業者が責任ある調達に関する決定を下すためのステップとなっています。このステップを踏むにあたっては、まだ持続可能な状態に達していない調達先から水産物を仕入れているバイヤーは、これらの調達先の持続可能性の実現に向けた活動を支援するために様々な方策を模索することができます。

例えば一つの方策として、これらの漁業がバイヤーの持続可能な水産物調達方針で要求される基準を満たすようになるまで、これらの漁業からの水産物の購入を一時的に停止することがあげられます。この手法を実施するバイヤーに対しては、調達再開に向けて取り組むべき課題を対象となる漁業に伝えることを推奨しています。

他の方策としては、サプライヤーや生産者、および他の業界のパートナーを漁業改善プロジェクトに巻き込むことが考えられます。漁業改善プロジェクトでは改善に関する具体的な節目の目標や期限があり、その達成状況に関する説明責任を果たす必要があります。漁業が環境に関する業績目標に対して目に見える改善ができなかった場合は、改善プロジェクトに関わるバイヤーおよびサプライヤーに対して、この漁業からの水産物の調達を停止するよう推奨し、その理由を伝えます。

サプライチェーンを改善プロジェクトに巻き込むか、または問題を改善するまで調達を控えるかに関する決断は、バイヤーの考え方や企業の持続可能な水産物に関する方針に定める具体的な要件次第ですが、最終的な目標である海洋環境や水産物の供給に一定の有益な変化を引き起こす動機付けとなれば、どちらも妥当な手法と言えます。

漁業改善プロジェクトの定義

漁業改善プロジェクトとは、様々な利害関係者を巻き込んだ漁業における環境問題を解決するための取り組みです。民間部門の力を活用して漁業の持続可能性に対する有益な変化を奨励するとともに、管理政策の改正を通じてこのような変化が継続されるように努めます。



漁業改善プロジェクトの定義

コンサベーション・アライアンス・フォー・シーフード・ソリューションズのメンバーが支援を検討するような、漁業改善プロジェクトに求められる主要な必須の資質は以下の通りです。



参加

漁業改善プロジェクトでは、サプライヤーや小売業者、外食産業および漁業者を含む水産業界などの市場の力を活用して漁業改善に対する動機付けをしなければなりません。具体的には、サプライチェーン内の企業の積極的な参加が不可欠です。その他の参加者としては、政府や漁業管理者、およびNGOなどが含まれます。ここでの参加とは、プロジェクトに対して金銭または現物による支援を行うこと、および / または実施計画が規定する活動に取り組むことです。



公約

参加者は漁業に対し金銭的な(直接または現物)出資を行い、改善の実施を公約しなければなりません(例:署名入りの覚書や公表された参加者のリストなど)。



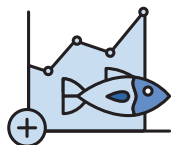
目標

漁業改善プロジェクトではプロジェクトの短期的な活動範囲を定義し、期限付きの目標を定めなければなりません。またアライアンスのメンバーも、これらの目標などに基づき漁業改善プロジェクトに対する支援内容を決定します(下記の簡易および包括的漁業改善プロジェクトの基準に関する詳細情報を参照)。さらに下の表にあるような環境に関する目標設定に加えて、FIPにおいては漁業内の社会的な課題に取り組むための目標設定を検討するよう働きかけています。



実施計画

漁業改善プロジェクトにおいては、関連する予算および期限を含めた実施計画を策定、実行しなければなりません。この計画は、漁業がプロジェクトの目標を達成するために必要な改善項目に取り組むために策定されます。作業計画およびその期限は公表が義務付けられていますが、予算については公表の必要はありません。



進捗の追跡および報告

漁業改善プロジェクトでは定期的に進捗状況を追跡し、以下の内容を含めて報告しなければなりません—1) 活動内容の進捗および結果を証拠資料と共に6ヶ月ごとに報告、2) 各指標の得点を更新し、得点変更の理由を裏付ける証拠とともに12ヶ月ごとに提出。全ての漁業改善プロジェクトは時間と共に進展していくことが前提となっています。

簡易(BASIC)および包括的(COMPREHENSIVE)漁業改善プロジェクトPROJECTS

コンサベーション・アライアンスのメンバーは、漁業改善プロジェクトに 2つのレベルで関わっています：

簡易FIP

漁業が特定の環境課題への取り組みを始めるのに適した入門レベルのプロジェクトです。

包括的FIP

漁業が高いレベルの持続可能性を達成するために必要な幅広い環境課題に取り組むことを目的としています。

簡易FIPと包括的FIPの主な違いは、作業計画の策定や目標、および必要な検証の報告に関する範囲設定のレベルです。

コンサベーション・アライアンスは、漁業に対して包括的なモデルを模索するため新たな改善プロジェクトを策定するよう働きかけています。また簡易FIPの実施者に対しては、将来包括的FIPへ移行するよう促しています。アライアンスの包括的基準を満たし、進展が確認できるプロジェクトに従事する漁業は、アライアンスのメンバーから調達先として推奨される可能性が最も高くなります。

簡易漁業改善プロジェクトと包括的漁業改善プロジェクトの主な違い

簡易FIP	包括的FIP
範囲設定	
<p>簡易FIPでは、環境課題を特定するため、MSC認証規準に基づくニーズの評価および範囲設定に関する文書を作成します。このニーズ評価は、MSC認証規準の3つの原則それぞれから最低でも一部の指標を取り入れなければなりません。また、ニーズ評価および範囲設定文書は公表が義務付けられています。</p>	<p>包括的FIPでは、MSC認証規準*を適用した経験のある関係者が予備審査および範囲設定文書を作成します。この予備審査または範囲設定文書は公表が義務付けられています。</p>
目標	
<p>MSC基準に基づき、漁業の改善を目指して特定の環境課題に取り組むための期限付き目標を設定します。</p>	<p>MSC規準を無条件で満たすようなレベルの業績を達成するために必要な、全ての漁業に関する環境課題に取り組むための期限付き目標を設定します。</p>
監査を通じた進捗状況の検証	
<p>独立した監査員による、MSC規準に基づく活動結果や業績の対面監査を推奨していますが、簡易FIPでは義務付けられていません。</p>	<p>包括的FIPでは、3年ごとにMSC規準に基づき活動結果および業績の対面監査を受けなければなりません。監査はMSC規準に関する経験があり*、FIPを実施する組織から独立した人が担当します。</p>

* MSC規準を適用した経験のある関係者とは、MSCの技術コンサルタントや認定認証審査機関、または[FisheryProgress.org](https://www.fisheryprogress.org)の基準を満たす適格性を示した人を指します。



漁業改善プロジェクトのプロセス

アライアンスのメンバーによるサポートの対象プロジェクトとなるために、漁業改善プロジェクトでは通常以下のプロセスを踏みます。このプロセスは必ずしも直線的に進むわけではありませんが、プロジェクトの取り組みや調達に関する提案を行うためにプロジェクトを評価する際に確認する要素になります。

有望なプロジェクト

ステージ0 (FIPの特定) およびステージ1 (FIPの策定) の段階にあるFIPは、FisheryProgress.orgに有望なプロジェクトとして最大12ヶ月掲載される可能性があります。有望なFIPの掲載は、企業がどのプロジェクトに参加するかを特定するのに役立つだけでなく、同じ種 / 同じ地域を対象にしたFIPの重複を防ぐ目的もあります。さらにステージ2 (FIPの立ち上げ) を完了したFIPは、FisheryProgress.org上で活動中のプロジェクトとして掲載されます。

活動中 / 完了 / 休止プログラム

ステージ2 (FIPの立ち上げ)、ステージ3 (FIPの実施)、ステージ4 (漁業慣行または漁業管理の改善) およびステージ5 (海洋環境の改善) に取り組むFIPは、以下の状況が発生するまでFisheryProgress.orgにおいて活動中のプロジェクトとして掲載されます：

1. プロジェクトが終了し、目標の達成を証明する独立した検証結果を提出した場合、以後は完了プロジェクトとして掲載されます。
2. 目標を達成しないまま活動の中止を報告した場合、以後は休止プロジェクトとして掲載されます。
3. 6か月ごとの報告を2回連続で提出しなかった場合、以後は休止プロジェクトとして掲載されます。
4. ステージ4 (漁業慣行または漁業管理の改善) またはステージ5 (海洋環境の改善) の結果を3年以内に報告しなかった場合、以後は休止プロジェクトとして掲載されます。

FisheryProgress.orgは、コンサベーション・アライアンスのコミュニティが策定したFIPのステージ1 (FIPの策定) およびステージ2 (FIPの立ち上げ) で活用できるテンプレート一式を提供しています。

漁業改善プロジェクトのプロセス

ステージ

0

FIPの特定

このステージでは、漁業改善プロジェクトを通じて恩恵を受ける可能性がある対象漁業を特定し、サプライチェーンの分析を通じて漁業に関わる他の関係者、および現在の市場影響力を把握します。

ステージ

1

FIPの策定

このステージでは漁業の業績をMSC認証基準に照らして評価するとともに、プロジェクトに参加する利害関係者を募集します。FIPの策定段階における活動内容は以下の通りです。

漁業の環境面における業績の評価。

- 簡易漁業改善プロジェクトではニーズ評価を実施しますが、漁業における環境課題および必要な改善点を見極めるために、MSC規準の3つの各原則に関する指標の最低でも一部を評価に含めなければなりません。また将来的に包括的プロジェクトへの移行を見込んでいる場合は、簡易プロジェクトのニーズ評価において可能であれば全てのMSC規準の指標を含めるとともに、ニーズ評価としてMSCの予備審査の実施を推奨しています。
- 包括的漁業改善プロジェクトでは、対象漁業がどの分野においてMSC基準を満たしていないかを把握するためにMSC予備審査を実施します。予備審査は、MSC規準を適用した経験のある当事者により実施されなければなりません(例:登録MSC技術コンサルタント、認証審査機関またはFisheryProgress.orgの基準を満たす立証済みの資格保持者など)。

- FIPでは環境課題の評価だけでなく、モンレー・フレームワークの3つの原則に基づく社会的リスク評価の実施も推奨しています。また、FIPではこの評価を実施するにあたり、社会的責任評価ツールを活用できます。

範囲設定文書

- 範囲設定文書はニーズ評価 / 予備審査の結果をまとめるとともに、漁業が抱える課題に取り組むための方策も推奨しており、公表が義務付けられています。包括的漁業改善プロジェクトでは、MSC規準を適用した経験のある当事者が、範囲設定文書を作成または監査することになっています(例:登録MSC技術コンサルタントや認証審査機関、またはFisheryProgress.orgの基準を満たしていることを示すその他の資格保持者など)。

注記: ニーズ評価(簡易審査)またはMSC予備審査の評価結果および漁業の課題に取り組むための推奨方策がまとめられている場合は、漁業改善プロジェクトの中で改めて範囲設定文書を作成する必要はありません。

利害関係者のマッピングおよびエンゲージメントのプロセス

どの関係者が漁業改善プロジェクトに最も関連があるかを特定します。プロジェクトにより影響を受ける可能性がある、または漁業における環境課題に取り組むために変革を起こす役割を担う全ての利害関係者について検討します。さらに、行政の代表者および業界関係者(漁業者、加工業者、輸出者、サプライチェーン内の関係者およびエンドバイヤーなど)、環境および社会的NGOや科学コミュニティなども含めて、漁業改善プロジェクトに参加する必要がある関係者を見極めます。

また漁業改善プロジェクトに対しては、参加者を追加するプロセスの透

↓

明化を促しています。策定段階のプロジェクトにおいては、同じ漁業内で別の漁業改善プロジェクトが存在するか確認するとともに、現在の取り組みとの重複を避けるために可能な分野での協働も推奨しています。同一漁業内でその他の活動中または有望なFIPが存在するかを確認するには、FisheryProgress.org が参考になります。

ステージ

2

FIPの立ち上げ

このステージでは、プロジェクトの参加者と実施計画を最終的に決定し、公表します。内容は以下の通りです。

● **プロジェクトの参加者の確認。** 漁業改善プロジェクト参加者のリストを公表します。また、参加者の役割に関する詳細情報を記載した覚書を公表することもできます。

● **参加者による会議。** 漁業改善プロジェクトの参加者が直接集まり、漁業審査に関して議論し、行動指針を決定します。

● **実施計画の策定。** 審査結果や範囲設定書、および参加者からのフィードバックに基づき、漁業改善プロジェクトにおいて目標を達成するために必要な、取り組みが不十分な事項の是正を促進する活動を伴う実施計画を策定します。包括的プロジェクトの場合、この実施計画はMSC規準の適用経験者と共に策定する必要があります。

実施計画は以下の項目を含まなければなりません。

- **目標。** 目標に対する推奨活動期間は5年(以内)です。簡易プロジェクトでは、MSC規準に基づき漁業の業績を改善するために、ニーズ評価(簡易審査)において浮き彫りになった特定の環境課題に取り組むことを目標としています。一方、包括的プロジェクトにおいては、MSC規準を無条件で満たすレベルの持続可能性を達成す
- ↓

るために、漁業における全ての環境課題に取り組みます。さらに全ての漁業改善プロジェクトに対して、トレーサビリティおよび社会問題への対処なども目標の一部として取り組むことを推奨しています。

- **行動リスト。** ニーズ評価 / 予備審査において特定された課題に対処するためにやり切らなければならない主要な活動のリストです。実施計画にはより詳細な作業内容を記載することも可能ですが、これは行動を具体的な段階に細分化し、それぞれどのようにやり遂げるかを説明したものです。
- **責任当事者。** 各行動を最後までやり切る責任を負う団体 / 個人。
- **期間。** 各行動および / または作業を完了するのに必要な推定期間 (例:2015年1月-6月)。
- **関連予算。** 予算は少なくともFIPの主要経費および収入のリストを含み、毎年更新する必要があります。

このステージにおいては、実施計画を公表するとともに、予算も参加者により承認を受ける必要があります(予算の詳細については公表の必要はありません)。また実施計画策定の際には、漁業が計画通り改善を進める能力に影響を与えうるリスクの評価を勧めています。

ステージ

3

FIPの実施

FIPの実施段階では、対象漁業は問題点の改善に向かって活動を開始するとともに、進捗状況の追跡も始めます。

このステージには以下の内容が含まれます。

実施計画中の活動および / または作業の実施。 監督者と連携してこれらの活動に一貫して取り組みます。

進捗状況の追跡および報告。簡易および包括的漁業改善プロジェクトでは、実施計画の進捗状況を以下のように自己報告します：

1. 実施計画中の行動およびその結果に関する進捗状況を、証拠書類とともに6か月ごとに公表します。
2. 12か月ごとに指標の得点を更新し、得点変更の妥当性を裏付ける証拠を提出します。

FisheryProgress.orgへのFIPの報告に関しては、FishChoice(フィッシュチョイス)のスタッフが公表前に完全性および正確性の観点から、進捗状況報告書の精査を行います(詳細については[FisheryProgressのレビューガイドラインを参照](#)のこと)。FisheryProgress.orgに掲載されているFIPが6か月ごとの報告書を2回連続で提出しなかった場合は、休止プロジェクトとみなされ、この場合FisheryProgress.org上で再び活動中の状態に復帰するためには、報告書を完全に改訂する必要があります。

包括的漁業改善プロジェクトでは、3年ごとに活動結果およびMSC規準に基づく業績(例：漁業方針・管理または漁業慣行の変化、および最終的には漁業の健全性)に対して独立した対面監査を実施しなければなりません。この監査は、MSC規準の適用経験があり(例：MSC公認技術コンサルタントや認証審査機関、またはFisheryProgressの基準を満たしていることを示すその他の資格など)、漁業改善プロジェクトを実施する団体から独立した者が実施します。

必要に応じて計画を修正する 漁業改善プロジェクトが、特定の期限内に実施計画に定められた行動目標を達成出来ない場合は、その理由を報告し、調整した行動計画や期限を実施計画に反映させなければなりません。

ステージ

4

漁業の慣行または漁業管理における改善

このステージでは、FIPにおいて実施計画の実行を通じて実証された改善内容を文書にまとめます。このステージにおける改善事項は以下の通りです

方針または管理の改善、または漁業慣行の変更。

管理または情報に関するMSC業績指標の得点向上。

ステージ

5

海洋環境の改善

このステージでは、FIPにおいて海洋環境で実証された改善を文書にまとめます。このステージにおける改善事項は以下の通りです。

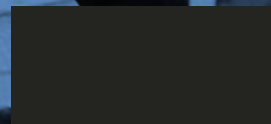
成果に関するMSC業績指標の得点向上

海洋環境における検証可能な変化。 漁獲死亡率の減少や対象種の資源量増加、生息域への影響の低減など。

注記: ステージ4と5は必ずしもこの順番通りになるわけではなく、この2つのステージでは、それぞれ異なる結果からFIPを評価します。しかし、各FIPにおいてこの2つのステージが必ずしも求められるわけではありません。

漁業改善プロジェクトの支援

漁業改善プロジェクトへの支援を通じて、より多くの水産事業者に既存プロジェクトへの参加を促すとともに、環境問題を抱える他の漁業を改善する新たなプロジェクトに対するバイヤーおよびサプライヤーの需要を喚起することができます。





漁業改善プロジェクトの支援

漁業改善プロジェクトを支援する方法には様々なものがあります。コンサベーション・アライアンスは、FisheryProgress.org上で漁業改善プロジェクトを評価しますが、プロジェクトへの参加またはプロジェクトからの調達に関する推奨は行いません。一方個々のアライアンスメンバーは、このウェブサイト上の情報を評価し、それぞれの事業パートナーへの推奨を検討します。しかし、最終的には企業がプロジェクトへの参加、またはプロジェクトからの調達に関する最終的な決定を下します。

アライアンスによる評価およびそのメンバーによる提案に関する追加情報を以下に示します。

アライアンスによる評価

コンサベーション・アライアンス・フォー・シーフード・ソリューションズは、環境課題の解決に取り組む全ての漁業改善プロジェクトを称賛しています。そしてこのような重要な取り組みを評価するために、少なくともこのガイドラインに示されている簡易プロジェクトの基準を満たしている漁業改善プロジェクトに対して、その情報をFisheryProgress.orgに提供するよう勧めています。

漁業改善プロジェクトがFisheryProgress.orgに掲載されるためには、最低でも簡易プロジェクトの基準を満たすと同時に、ステージ2(FIPの立ち上げ)に到達する必要があります。簡易または包括的プロジェクトの基準を満たす目標を掲げるステージ0またはステージ1の段階にある漁業改善プロジェクトは、このウェブサイト上に最長で12ヶ月間「有望な漁業改善プロジェクト」として掲載されますが、それ以降も掲載を継続するためには、ステージ2に進まなければなりません。またFisheryProgress.org に提供された漁業改善プロジェクトの情報はFishChoice(フィッシュチョイス)のスタッフが精査し、簡易または包括的プロジェクトの基準を満たしているかを評価するとともに、プロジェクトのステージを検証します。

メンバーによる推奨

コンサベーション・アライアンスが漁業改善プロジェクトへの参加またはプロジェクトからの調達を推奨することはありませんが、代わりに個々のアライアンスメンバーがFisheryProgress.org上の情報に基づき漁業改善プロジェクトを評価し、それぞれの事業パートナーに対して以下のようにプロジェクトの推奨を検討します。

- FIPに携わる企業を推奨します。アライアンスメンバーは、FisheryProgress.orgに掲載されている漁業改善プロジェクトに携わる企業の推奨を検討します。漁業改善プロジェクトへの企業の関わり方に

は様々な形があり、実際に漁業改善プロジェクトに参加する場合もあれば(例: 金銭的 / 現物による支援または実際の活動に参加)、他の方法で関わる場合(例: 支援表明の手紙を送る、自社サプライチェーンの参加を促すなど)もあります。

- FIPに携わる漁業からの調達を推奨する : アライアンスメンバーは企業に対して、アライアンスのFIP追跡ウェブサイトであるFisheryProgress.orgに掲載されている活動中の漁業改善プロジェクトに携わる漁業からの水産物の調達を推奨するか検討しますが、その推奨基準はアライアンスメンバー間で異なります。トレーサビリティを含むアライアンスの包括的漁業改善プロジェクトの基準を満たし、進展が見られるプロジェクトに参加する漁業は、調達先として推奨される可能性が最も高くなりますが、簡易プロジェクトに携わる漁業が調達先として推奨される可能性もあります。

意思決定における企業の役割

アライアンスの企業パートナーが漁業改善プロジェクトに携わる漁業からの調達、または漁業改善プロジェクトへの参加を検討する場合、最終的な決断はその企業の持続可能な水産物に対するコミットメントの度合いにかかっています。アライアンスメンバーは提案を行いますが、最終的な決定は個々の企業に委ねられます。

進展が大きな意味を持つ

さらにこの決定は、漁業の行動実施計画に対する進捗状況や、その成果に関する報告の内容にも左右されますが、多くのアライアンスメンバーが活用する漁業改善プロジェクトの進捗状況を評価する重要なツールとして、FIPの進捗状況格付けがあります。これはサステナブル・フィッシュリーズ・パートナーシップにより開発されたツールで、結果はFisheryProgress.orgにより精査され、このウェブサイトに掲載されます。

ここで鍵となるのは、漁業改善プロジェクトにおける明確なコミュニケーションおよ

び報告です。実施計画に規定された行動の達成期限を守れなかった場合は、その理由の報告と、目標達成のための新たな計画の提出を要請します。

漁業改善プロジェクトでは、たとえ達成期限に間に合わない活動があったとしても進めていくことは可能ですが、絶えず期限に対する遅れが発生したり、環境に関する一定の改善が見られない場合は、漁業改善プロジェクトに対する支援を打ち切る可能性もあります。

特にFisheryProgress.orgに関しては、FIPの報告の中で漁業慣行や漁業管理の変化、または海洋環境の変化と定義されるような成果が3年間出ていない場合は休止状態と認識されます。その場合、FIPが活動中の状態に戻るためには、少なくとも一つの漁業慣行や漁業管理の変化、または海洋環境の変化を示す証拠を提示する必要があります。

注記:本ガイドラインで使用されている用語集などの詳細は、solutionsforseafood.org/projects/fishery-improvementをご参照ください。